



### 鮮やかな花の競演

5月18日、小園橋付近にある笠間芳之さん宅の庭で、咲き誇るゴデチアを背景にバーベナが咲いていて、鮮やかな花の競演で道行く人を楽しませているようでした。バーベナの原産地は南北アメリカの熱帯から亜熱帯地域までで、別名「美女桜」ともいわれています。バーベナ全般の花言葉は「魔力」「魅力」などがあり、ピンク色には「家族の和合」という花言葉があります。 【高橋 元】



### 青いアジサイの花言葉

6月5日、釜田第6公園やたくさんさんの家の庭で、きれいなアジサイが咲いていました。アジサイの花言葉はその色によって異なり、青いアジサイには「辛抱強い愛情」があるそうです。コロナ禍で、さまざまところで我慢しなければいけない生活が続いていますが、花言葉のように辛抱強くいれば、いつかはまた元の生活に戻れるのではないかなと思いました。 【根岸 宏旭】



### いにしへの矢倉沢往還を訪ねて

6月12日、矢倉沢往還と小園の赤坂を訪ねました。同往還は大山街道とも呼ばれ、小園の付近を通っていました。小園と海老名の境にある赤坂には、イチヨウの大木の下に不動明王坐像が鎮座した赤坂道標がありました。昔は旅館なども多く人の往来も盛んだったようです。いにしへの同往還を訪ね、歴史や文化の変化を感じたようなひとときでした。 【馬場 正勝】



### 花名の由来に驚き ホタルブクロ

6月5日、落合北にある取内の森で、釣り鐘状に咲く多年草ホタルブクロがかわいらしい花を付けていました。この花の由来を辞書で引くと、その昔、子どもたちがこの花にホタルを包んでいることがあったことから名付けられたとありました。ホタルが花の中で光り、ランプのようにやさしい光を見せていたのでしょうか。 【深澤 利彰】



### 歩道沿いの、真っ赤なカンナに目を引かれました

6月9日の朝、城山公園駐車場近くの歩道沿いに咲く、真っ赤なカンナの花に目を引かれ、カメラのシャッターを押しました。カンナの原産地は熱帯アメリカで、濃い緑の葉っぱと真っ赤に咲く花は、行き交う人たちの足を止めます。カンナの花言葉は「快活」。ここを通る小・中学生たちも花に負けじと「快活」で、元気にあふれていました。 【秋元 謙治】



### ジャガイモの変身

6月13日、中村地区にあるドリームプレイウッズの畑へ、ボランティアでジャガイモ掘りに行きました。掘ったジャガイモを持ち帰り、選別していたところ、クマの頭に小鳥が止まっている姿に変身したような、かわいらしいジャガイモを見つけました。コロナ禍の中、思いがけなく面白く明るい気持ちになりました。 【中島 典敬】